

# 平成20年度 決算報告書

国立大学法人 小樽商科大学  
(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,304	1,304	0	
施設整備費補助金			0	
船舶建造費補助金			0	
施設整備資金貸付金償還時補助金			0	
補助金等収入	0	5	5	
国立大学財務・経営以外-施設費交付金	16	16	0	
自己収入	1,337	1,355	18	
授業料及び入学金及び検定料収入	1,320	1,320	0	
附属病院収入			0	
財産処分収入			0	
雑収入	17	35	18	(注1)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	54	70	16	(注2)
長期借入金収入			0	
貸付回収金			0	
承継剰余金			0	
旧法人承継積立金			0	
目的積立金取崩			0	
計	2,711	2,750	39	
支出				
業務費	1,937	1,985	48	
教育研究経費	1,937	1,985	48	(注3)
診療経費			0	
一般管理費	704	659	△45	(注4)
施設整備費	16	16	0	
船舶建造費			0	
補助金等		5	5	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	54	55	1	(注5)
貸付金			0	
長期借入金償還金			0	
国立大学財務・経営以外-施設費納付金			0	
計	2,711	2,722	11	
収入-支出	0	28	28	

○予算と決算の差異について

(注1) 雑収入については、主として科学研究費補助金間接経費・財務収益等の増により、予算金額に比して決算金額が18百万円多額となっています。

(注2) 寄附金の獲得に努めたことにより、予算金額に比較して決算金額が16百万円多額となっています。

(注3) 業務費については、当初予定していなかった退職手当を計上したことにより77百万円多額となり、また、教員採用計画の保留や教育研究経費において経費の削減に努めたことから29百万円少額になったことにより、予算金額に比して48百万円多額となっています。

(注4) 一般管理費については、燃料費高騰の緩和や一般管理費において経費の削減に努めたことから予算金額に比して45百万円少額となっています。

(注5) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1百万円多額となっています。